

演習場機能の充実・維持 北海道の道場化を推進

演習場秋季定期整備



装軌車道整備(矢白別演習場)

第784号
令和4年12月21日

要望事項
「真に戦える実効性ある
部隊の創造」
「地域等との連携」
「人間力の強化」

発行：北部方面隊総監部広報室



てん標整備(矢白別演習場)



路側帯整備(北海道大演習場)



道路の荒廃箇所整備(北海道大演習場)

方面隊は、11月7日から16日までの間、北海道大演習場、矢白別演習場、上富良野演習場、鬼志別演習場、然別



廃弾回収(然別演習場)



戦車停弾提整備(然別演習場)



射場整備(上富良野演習場)

演習場、高嶺演習場等において令和4年度北部方面隊演習場秋季定期整備を実施した。整備開始に先立ち総監は、「本整備の目的は、方面隊の作戦運用の実効性向上に資するため、訓練基盤の充実を重視した演習場整備を実施し、北海道の道場化を推進するにあ



整備間の給食(駒ヶ岳演習場)

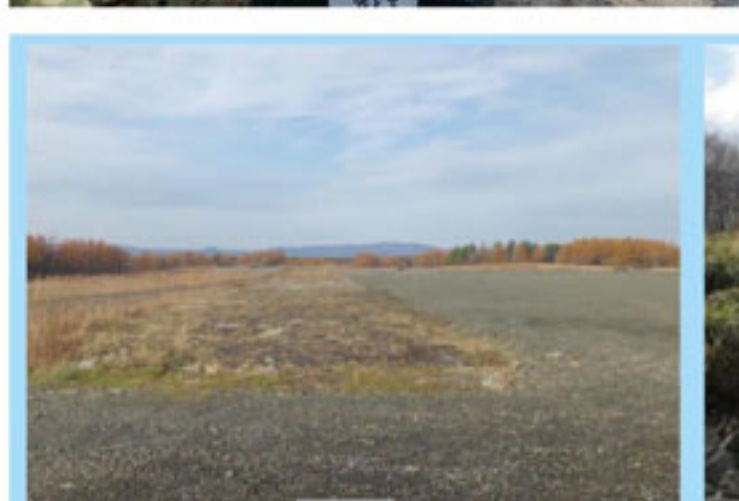


入浴支援(鬼志別演習場)



安全教育(倶知安駐屯地)

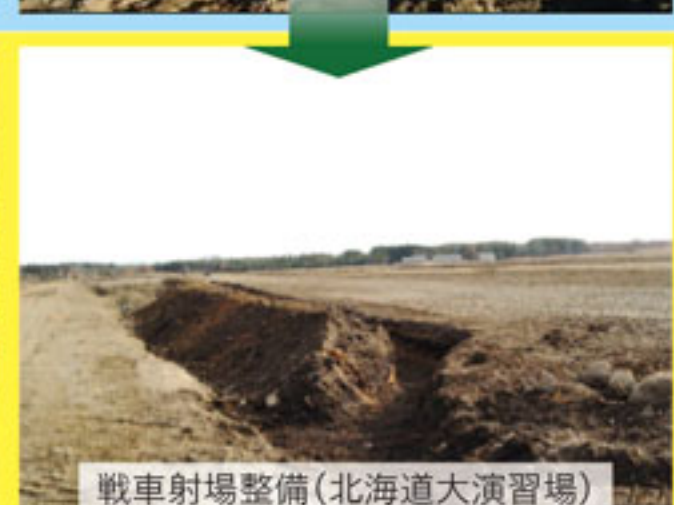
る。」と訓示を述べ、「道場化を着実に推進するため、整備構想に基づく整備を実施せよ」、「基本・基礎を徹底し、安全管理及び健康管理に万全を期せよ」の二点を要望した。



総合戦闘射場整備(上富良野演習場)



装軌車道新設(矢白別演習場)



戦車射場整備(北海道大演習場)

ビフォー
アフター
演習場整備活動成果

し、本演習場整備に臨んだ。本演習場整備は、方面隊内の主要演習場に展開する事業であり、隊員約17,000名、車両約3,500両が参加した。

この際、第7師団(師団長 中村陸将)は、ドローンを活用し、空中から整備進捗状況と部隊の作業要領を把握するにとともに、第3施設団(団長 河口陸将補)は、油圧ショベルにGPSセンサーを取り付けた機械施工要領を検証する等、最新の技術を積極的に活用しつつ演習場の道場化を推進した。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、移動、作業及び宿営間における感染防止施策を隊員一人一人に至るまで徹底

北部方面隊の活動はホームページ及び各種 SNS をご覧ください。チャンネル登録及びグッドボタンをよろしくお願いします。

YouTube

Instagram

Facebook

Twitter

HP



ユーチューブ

インスタグラム

フェイスブック

ツイッター

ホームページ

第2師団訓練検閲

各職種部隊の練度を評価・判定

第2師団(師団長 富樫陸将)は、10月16日から29日までの間、令和4年度第2次師団訓練検閲を実施した。本検閲は、第2高射特科大隊、第2偵察隊、第2通信大隊、第2偵察隊、第2特殊武器防護隊及び第2音楽隊に対し、部隊の教育訓練の成果を評価するとともに、その進歩向上を促すことを目的として実施された。各部隊は、それぞれの特性に応じ、付与された任務に基づき行動し、指揮幕僚活動、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作について、評価を受けた。



戦場撮影任務(第2通信大隊)



81式短距離地对空誘導弾の射撃準備(第2高射特科大隊)



陣地の警戒(第2音楽隊)



汚染地域の除染(第2特殊武器防護隊)



偵察警戒車による敵の偵察(第2偵察隊)

西部方面区において 米海兵隊との共同対処能力を向上

日米共同統合演習KS23



共同対艦訓練

第1特科団(団長 牧野陸将補)は、11月10日から11月19日までの間、令和4年度日米共同統合演習(キーンソード23)に参加した。沖縄県及び鹿児島県の自衛隊施設等に第2地对艦ミサイル連隊(美唄)が機動展開するとともに、陸・海・空自衛隊、米軍等との協(共)同訓練を実施した。この際、グレーゾーン事態から武力攻撃事態等における自衛隊及び日米共同による対処を



敵船舶の標定

演練し、自衛隊の運用能力及び日米の相互運用性の向上を図ることができた。

職種機能等強化(火力)

領域横断作戦における 情報と火力の連携を強化

第1特科団は、10月30日から11月1日の間、矢白別演習場において、令和4年度職種機能等強化(火力)を実施した。本訓練は、情報と火力の連携について強化するとともに、総合戦闘力



対抗部隊による99式自走155mm榴弾砲の射撃(第7特科連隊)

ホーク部隊実射訓練

米国において航空自衛隊と連携し、陸空協同射撃要領を演練

第1高射特科団(団長 久保陸将補)は、9月26日から11月9日までの間、米国マクレガー射場において、令和4年度ホーク部隊実射訓練を実施した。本訓練は、第1高射特科群(東千歳)及び第4高射特科群(名寄)が担任部隊として訓練を実施したもので、地对空誘導弾(ホーク)の実射に関する一連の行動を訓



CW 捕捉レーダの器材点検

練し、任務遂行能力の向上を図るとともに、航空自衛隊と連携した射撃

を最大限発揮し得る各師団・旅団を含めた方面隊の特科部隊を練成することを目的とし実施された。本訓練においては、特に情報の収集、宇宙・サイバー・電磁波等を含む領域横断作戦下における情報と火力の連携及び実弾射撃について演練し、その練度の向上を図ることができた。



地对空誘導弾改良ホークの射撃準備

に係る動作を演練して、陸空協同射撃要領の資を得ることを目的として実施された。この際、航空自衛隊第3高射群と協同連携し、実践的な協同対空戦闘について演練した。訓練部隊は、米国での貴重な訓練において、要撃成功の成果を得て任務を完遂した。



火力調整所での活動(第1特科団等)



標定中のP-13レーダ(第5特科隊)



無人偵察機による偵察(北部方面情報隊)



訓練部隊指揮所(第2特科連隊)

第7師団戦車射撃競技会

練成成果を発揮し、戦車射撃ナンバーワンに挑む

第7師団は、10月22日1戦車射撃場において、令和4年度師団戦車射撃道大演習場島松地区第7師団戦車射撃大会を実施した。



10式戦車の射撃



4両での躍進射撃



優勝小隊の表彰

本競技会は、第7師団の戦車部隊とともに、オープン参加として第2師団及び第5旅団の戦車部隊が参加し、戦車射撃指揮及び射撃技術の向上を図ることを目的として陸上自衛隊最大規模の戦車射撃競技会を実施した。
今年度は、10式戦車と90式戦車を初めて同様の実施要領で競い合わせた。
この際、参加した36個の小隊(1個小隊戦車4両)が凌ぎを削り、より迅速で精度の高い射撃を実施する等、各小隊は、日頃の練成成果を遺憾なく発揮した。

第7師団戦車射撃競技会結果

- 部隊対抗の部
 - 優勝 第72戦車連隊
 - 準優勝 第73戦車連隊
- 中隊対抗の部
 - 優勝 第72戦車連隊第5中隊
- 小隊対抗の部
 - 優勝 第72戦車連隊第5中隊第2小隊
 - 準優勝 第72戦車連隊第2中隊第2小隊
 - 第3位 第72戦車連隊第2中隊第1小隊
 - 第4位 第72戦車連隊第3中隊第1小隊
 - 第5位 第73戦車連隊第5中隊第1小隊
 - 第6位 第72戦車連隊第1中隊第2小隊
- 戦車直接支援部隊等の部
 - 優勝 第7後方支援連隊第2整備大隊
 - 第2戦車直接支援中隊

北海道原子力防災訓練

防災関係機関等と連携して原子力災害対処能力を向上

方面隊は、10月31日、北海道及び泊原発周自治体の主催で実施された令和4年度北海道原子力防災訓練に参加した。



前方調整所での状況把握

本訓練は、泊原発で原子炉冷却材の漏洩が発生し、非常用炉心冷却装置の注水不能及び放射性物質の放出が発生したとの想定で、関係機関との連携、防災業務関係者の防災技術の向上を図ることを目的として、意思決定訓練と実動訓練に区分して行われた。
北海道庁及び北海道原子力防災センターで実施された意思決定訓練には、方面総監部等から参加し、北海道災害対策本部での勤務要領、前方調整所の運営要領、道との連携要領等を演練した。

国民保護訓練

各関係機関との相互理解の促進及び連携を強化

方面隊は、11月14日、武力攻撃事態における関係機関等との連携を強化し、事態対処能力の向上を図ることを目的として国民保護訓練を実施した。



総監部からの説明

本訓練においては、アドバイザーとして、内閣官房、防衛省内部部局及び消防庁から説明を受けるとともに、道庁、道警をはじめ、各自治体、指定行政機関、指定公共機関等、計47機関85名が参加し、武力攻撃事態における関係機関等との初動対処、情報連絡、調整等の各種対応要領及び関係機関との連携強化について討議が行われた。
また、関係機関等から積極的な意見をいただき、国民保護に関する理解を深める等、所望の成果を収め訓練を終了した。

浜中町総合防災訓練

災害発生時の対処要領の確認

第5旅団(旅団長 島海陸将補)は、11月1日、浜中町役場及び防



負傷者輸送訓練

災広場において、令和4年度浜中町総合防災訓練に参加した。



装備品展示

本訓練には、第27普通科連隊(釧路)及び第5飛行隊(帯広)が参加し、千島海溝沿い巨大地震の発生により大津波警報が発令された想定において、災害発生時の対処要領を確認するとともに、各防災機関との連携の強化を図った。
この際、ドローンを活用した情報伝達訓練及び自衛隊と消防等との連携による負傷者へのリコプターにより輸送する訓練を実施した。
第5旅団は、引き続き、関係機関との連携を強化するとともに、災害対処能力の更なる向上を図っていく。



グループ別討議



総監挨拶



防衛副長による総評



アドバイザーからの説明



総監より感謝状を受取る根本氏



記念撮影

方面隊は、10月16日、総監感謝状贈呈式において、心の健康相談室の著者である根本和雄氏に対し感謝状と記念品を贈呈しました。根本氏は、業務管理教育において、23年間講師として退職管理教育に貢献するとともに、札幌

平成2年からあかしやへ掲載

心の健康相談室著者 根本和雄氏総監感謝状受賞



久々の家族との再会

誇りと自信、そしてレンジャーの章を胸にした隊員達は、引き続き、それぞれの部隊で任務にまい進する。

第11旅団(旅団長 青木 将補)は、11月4日、第10即応機動連隊が担任したレンジャー集合

第11旅団レンジャー帰還式

新たに14名のレンジャー隊員が誕生



隊員及び家族に迎えられ帰還

第220回

～心の健康相談室～ 人生に潤いを与える言葉

まれい まき ひゃくれん ごと
磨礪は当に百煉の金の如くすべし、
急就の者は遠養にあらず。
しい よろ せんさん ごと
施為は宜しく千鈞の弩に似たるべし、
軽発の者は宏功なし。

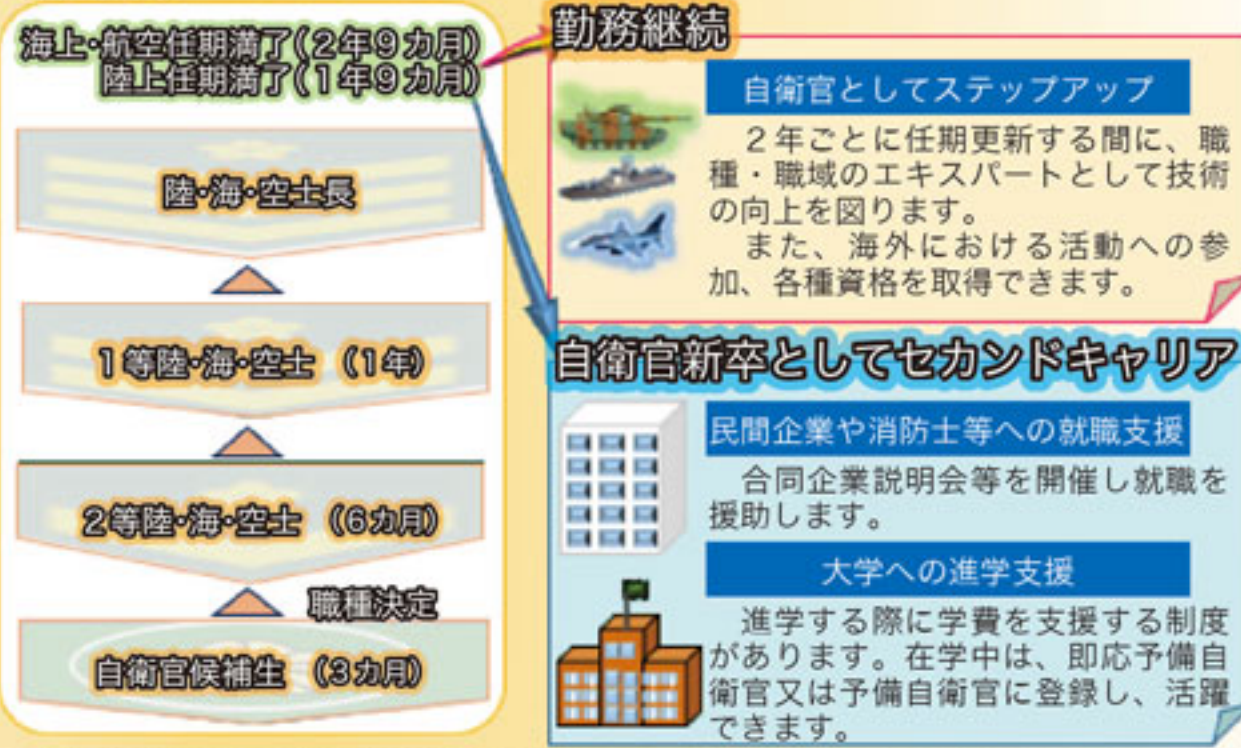
(「菜根譚」前集・188)

これは、「修養は繰り返し練磨(れんま)する金属のようにするがよい。手短に成就しようとすれば深い修養にならない。また、事業は強い石弓を發するように慎重にするがよい。軽々しく發しては大きな成果は得られない。」という意味です。つまり、十分に時間をかけて心を磨くことの大切さを示唆しているのではないのでしょうか。

心の健康相談・カウンセラー 根本 和雄

自衛官候補生

自衛官候補生は、約3カ月間の教育を経て、2等陸・海・空士(任期制自衛官)に任官します。任官後、陸上自衛官は1年9カ月、海上・航空自衛官は2年9カ月を1任期として勤務します。2任期目以降は、2年ごとに任期が更新されます。



12月着任部隊長紹介

北恵庭駐屯地業務隊長

2等陸佐 永吉 宏行



出身地 長崎県
前職 第14施設群副群長

真駒内駐屯地業務隊長

1等陸佐 齋藤 剛



出身地 大阪府
前職 雷品学校教育部長

第1電子隊長

1等陸佐 北原 武



出身地 福岡県
前職 防衛装備庁技術戦略部技術計画官付技術計画調整官

高等工科学校

高等工科学校は、高等学校学習指導要領に準拠した一般教養とテクノロジーの基礎を習得するための専門教育を通じ、将来陸上自衛隊において、また、国際社会においても活躍できる自衛官を養成する学校です。



種目	受付期間(締切)	試験日程	合格発表		
自衛官候補生	札幌	令和5年1月20日(金)	1月27日(金)・28日(土)	試験日にお知らせします。	
		令和5年2月10日(金)	2月19日(日)・20日(月)		
	旭川	令和5年1月16日(月)	1月22日(日)・23日(月)		
		令和5年2月6日(月)	2月12日(日)・13日(月)		
	函館	令和5年1月21日(土)	1月22日(日)・23日(月)		
		令和5年2月9日(土)	2月10日(金)・11日(土)		
	帯広	令和5年1月13日(金)	1月18日(水)・20日(金)		
		令和5年2月8日(水)	2月11日(土)・12日(日)		
	陸上自衛隊高等工科学校	令和5年1月6日(金)	1次:1月14日(土)・15日(日) 2次:1月26日(木)・29日(日)		1次:1月20日(金) 最終:2月9日(木)

あかしや新年特別号(第785号)掲載予定記事

・北部方面総監新年のご挨拶 ・北海道知事及び自衛隊協力団体等新年のご挨拶 ・各部隊新年のご挨拶 ・着任部隊長等紹介 ・募集記事等